



コレステロールはどれくらい下げればいいのか？



人それぞれがもつ危険因子の数によって目標値が違います。特に高血圧の人、糖尿病の人、タバコを吸う人などは、しっかり下げることが重要です。



Q&A5

コレステロールの管理目標値は、人それぞれにより変わってきます。糖尿病や高血圧の患者さん、タバコを吸われる患者さんでは動脈硬化が進行しやすいのでコレステロールをしっかり管理することが重要です。また性別、年齢によっても目標値は違いますから医師の指導により、下表を参考にしっかりコレステロールを下げましょう。

8

●治療目標値

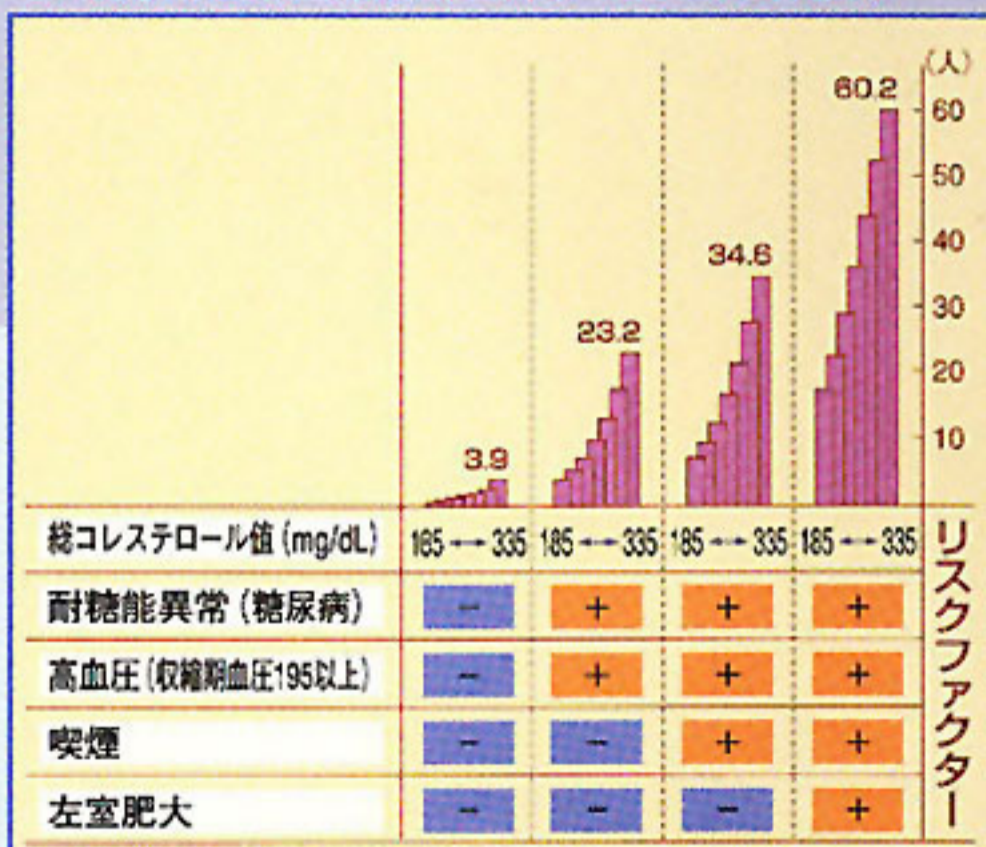
冠動脈疾患の有無*1	他の主要冠危険因子*2の数	総コレステロール (mg/dL)	LDLコレステロール (mg/dL)
なし	0個	240未満	160未満
	1個	220未満	140未満
	2個		
	3個	200未満	120未満
	4個以上		
あり		180未満	100未満

*1 冠動脈疾患：確定診断された心筋梗塞、狭心症

*2 LDL-C以外の主要冠危険因子：加齢（男性≥45歳、女性≥55歳）、高血圧、糖尿病（耐糖能異常を含む）、喫煙、家族歴、低HDL-C血症（<40mg/dL）

- 原則としてLDL-C値で評価し、TC値は参考値とする。
 - 脳梗塞、閉塞性動脈硬化症の合併がある場合は、冠危険因子4個以上の欄を参考にする。
 - 糖尿病がある場合は、他に危険因子がなくとも冠危険因子3個の欄を参考にする。
- （日本動脈硬化学会：動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年版より抜粋）

●冠動脈疾患発生頻度（8年間/1000人あたり）



コレステロール値が185~335mg/dLにおける冠動脈疾患発生頻度の違い
（フラミンガムスタディ, Ann Int Med 90 : 85-91, 1979より）